

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第176号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成21年4月25日 00時55分ごろ	
発生場所	福井県敦賀港鞠山A岸壁	
事故等調査の経過	平成21年6月22日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 ほくと、8,608トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 135410、宮崎産業海運株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	機関長、三級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	主機A列過給機のケーシング破孔	
事故等の経過	<p>本船は、出港スタンバイの機関用意をしているとき、平成21年4月25日00時55分ごろ、主機A列過給機のケーシングに破孔を生じ、冷却清水が漏洩するようになり、主機の運転が不能となった。</p> <p>小指大の破孔が1箇所が生じた鋳物製の過給機のケーシングは、岸壁係留中に溶接補修され、本船は、1日強遅れて出港した。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>過給機のケーシングが腐食と侵食で破孔し、冷却清水が漏洩したために発生したものと考えられる。</p>
原因	<p>本インシデントは、本船が敦賀港において出港スタンバイの機関用意をしているとき、主機A列過給機のケーシングが、腐食と侵食の進行によって破孔を生じ、冷却清水が漏洩するようになったため、主機の運転が不能となったことにより発生したものと考えられる。</p>	